

第 6 回都区のあり方検討委員会 会議概要

日 時 平成 21 年 2 月 2 日 (月) 午後 2 時から
場 所 都庁第 1 庁舎 3 3 階南塔 特別会議室 S 6
出席者 都 側：山口副知事、菅原副知事、猪瀬副知事、中田総務局長
区 側：多田特別区長会会長、中山同副会長、吉住同副会長、
鎌形同事務局長
報告者：山崎都区のあり方検討委員会幹事会座長

1 会議の概要

○ 都区のあり方検討委員会幹事会からの報告

山崎都区のあり方検討委員会幹事会座長から、平成 20 年度の幹事会での検討状況について報告が行われた。

幹事会からの報告を受け、検討期間を延長し引き続き検討を行うこととされた。

また、特別区の区域のあり方の検討については、将来の都制度や東京の自治のあり方について、学識経験者を交え、都と区市町村共同で調査研究する場を設ける必要があり、その方向で対応することとされた。

<資料>

- ・資料 1 都区のあり方検討委員会幹事会 平成 20 年度の検討状況

○ 都区のあり方検討委員会幹事会の検討事項

幹事会は、次の検討事項について調査研究し、平成 21 年度中にその検討状況を検討委員会へ報告することとされた。

- ・都と特別区の具体的な事務配分について

検討対象とした 4 4 4 項目の事務について、基本的な検討を行うべく引続き検討を行う。また、具体化を行うための実務レベルの検討体制を検討する。

- ・特別区の区域のあり方について

引き続きの課題とするが、当面は、都と区市町村共同で設置した調査研究の場においての結果を待って、必要に応じて議論する。

- ・税財政制度のあり方について

今後の検討課題の議論の推移を踏まえて整理する。

<資料>

- ・資料 3 都区のあり方検討委員会幹事会の検討事項について (案)

○ その他

今後の検討のあり方や地方分権改革推進委員会の動向等について、意見交換を行った。